

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

| | | | | | | |
|--|---|-------------|----------------|---|--------|-----------------|
| 事業名 | 一般国道228号 上磯拡幅 | | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 国土交通省 北海道開発局 |
| 起終点 | 自：北海道上磯郡上磯町字東浜 至：北海道上磯郡上磯町字富川 | | | 延長 | 5.4 km | |
| 事業概要 一般国道228号は、函館市を起点とし江差町に至る延長151kmの幹線道路である。当該事業は、上磯町市街地の交通渋滞・沿道環境などを改善し、安全で確実な道路交通の向上と地域プロジェクトの支援等に寄与する延長5.4kmの4車線拡幅事業である。 | | | | | | |
| S60年度事業化 | | S61年度都市計画決定 | | H元年度用地着手 | | H元年度工事着手 |
| 全体事業費 | 約169億円 | | 事業進捗率 | 74% | 供用済延長 | 3.9 km |
| 計画交通量 | 19,300台/日 | | | | | |
| 費用対効果 分析結果 | B/C (事業全体) | 1.6 | 総費用 (残事業/事業全体) | 44/221億円 | | 総便益 (残事業/事業全体) |
| | (残事業) | 1.2 | 事業費 | 44/221億円 | | 51/354億円 |
| | | | 維持管理費 | 0/0億円 | | 基準年：平成16年 |
| | | | | (走行時間短縮便益：52/355億円) (走行費用減少便益：-1/-3億円) (交通事故減少便益：0/1億円) | | |
| 感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=1.8(交通量+10%) B/C=1.4(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.5(事業費+10%) B/C=1.7(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.4(事業期間+20%) B/C=1.7(事業期間-20%) | | | | | | |
| 事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（渋滞の緩和、バス利便の向上が見込まれる） ・国土地域のネットワークの構築（日常生活圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる） ・個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト等を支援する） 他6項目に該当 | | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 一般国道228号上磯拡幅は、交通渋滞・沿道環境の改善などに重要な役割を果たすことが期待されており、上磯町をはじめとする関係7町の首長で構成される一般国道228号整備促進期成会より早期整備の要望を受けている。 | | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 拡幅整備済区間では沿道施設の立地が進んでいる。 | | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 当該事業は、平成元年度より用地補償及び工事に着手している。平成16年度までにL=3.9kmの供用を開始している。 | | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き用地取得が順調に進んだ場合、平成19年度頃の事業完了を予定している。 | | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 建設副産物対策や設計手法の見直しを行う等、コスト縮減を図っている。また、今後は舗装構成の見直しにも取り組む。 | | | | | | |
| 対応方針 | 事業継続 | | | | | |
| 対応方針決定の理由 | 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。 | | | | | |
| 事業概要図 | | | | | | |

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。